

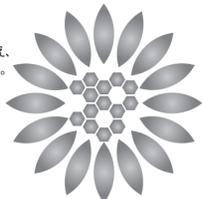
セルケア[®]2 Cellcare 2



ツーピースオストミーシステム
2-Piece Ostomy System

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、商品の特性を十分理解してお手元で使用ください。
- 常に、この取扱説明書をお手元に置き、必要に応じてお読みください。



お客様相談室 ☎0120-770-175
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)
www.alcare.jp

はじめに

《セルケア2》は、排泄物を溜めるストーマ袋と、皮膚に固定する粘着部分の面板が独立した二品系(ツーピース)器具です。面板はあらかじめカットされたフレカットタイプを標準とし、ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従いご使用ください。なお、商品についてご不明な点はアルケア株式会社 お客様相談室までお問い合わせください。

使用上のご注意

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたい、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。誤った取扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

- ストーマ周囲には軟膏等、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜厚も、その特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜厚の取扱説明書をよくご確認ください)
- 剥離フィルムを剥がした面板の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- 一度剥がした面板をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- ストーマ袋内を洗浄して、繰り返し使用することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。

- 器具を装着状態で折りまげないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。
- 面板の粘着面が冷たくなっている、貼り付きが強い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。
- フリーカットの場合、面板に開ける穴は、定められたカットラインを越えて切らないでください。面板からのモレの原因となります。
- 排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、1/3くらい溜まったお捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。
- 器具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。器具の交換日数は、発汗や排泄物等により異なりますが、2～5日が目安です。
- 万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

保管上のご注意

- 粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。
- 高温(40℃以上)・多湿の場所での保管
 - 温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
 - 直射日光があたる場所での保管
 - 圧迫がかかる場所での保管
 - 大量購入による長期保管
- *箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。
●面板の剥離フィルムを剥がしての保管

廃棄上のご注意

使用済みのストーマ器具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。器具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自自治体へご確認ください。

セルケア2の種類と各部の名称

●面板

F フラット面板
交換目安:2~5日



Fc 凸型面板
交換目安:2~5日



●ストーマ袋

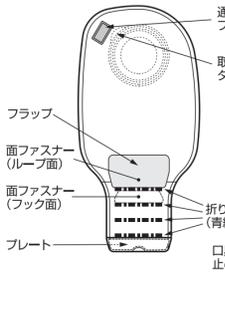
Df コロ/イレオストミー用



Cf コロストミー用



TDf コロ/イレオストミー用



D イレオストミー用

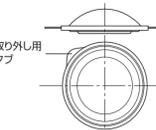


U ウロストミー用



●入浴用器具

BC 入浴用キャップ



準備

① 必要物品を用意します



- ご使用の面板とストーマ袋
- ストーマメジャーまたはカッティングゲージ
- 石鹸
- ガーゼ
- ティッシュ
- ゴミ袋
- ぬるま湯
- ハシミ(フリーカットの場合)
- 細い油性ペン(フリーカットの場合)

② 面板を剥がします



面板の上側を軽く持ち上げ、すき間に指を入れてお腹の皮膚を押しえながら、下向きにゆっくりやさしく剥がします。
●面板が皮膚に密着して剥がれない時は、剥離剤(プロケアーリムーバー)などで、皮膚と面板の間を濡らしながら剥がすとよいでしょう。

使用上のご注意
ストーマ袋の交換の際は、必ずお読みください。
入浴後の交換は、お避けください。直後の温度が上がっているため、粘着強度が高まり、剥がれにくいことがあります。入浴後交換の場合は、30分以上たって面板の温度が下がったのを確認の上、行ってください。

準備

③ ストーマ周囲を清拭します



器具を装着する前に、ストーマとストーマ周囲に付着した排泄物をティッシュ等で拭き取ります。その後、石鹸とぬるま湯を洗い、拭き取ったガーゼでストーマ周囲をよく洗います。

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。面板が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。
*ドライヤーの熱風はストーマに刺激を与えますので、使用を避けましょう。

【ウロストミーの場合】



清拭の間にも尿が絶えず出ているので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながら清拭を行うとスムーズにできます。

④ 面板を貼る位置を確認します



左手側にストーマがある方は、この矢印↑が上にくるように貼付してください。
右手側にストーマがある方は、この矢印↓が上にくるように貼付してください。

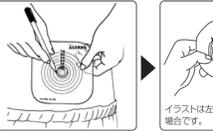
●右手側の方は右ストーマ
●左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。

使用手順 (面板の貼り方)

*フリーカットをご使用の方は①から、フレカットをご使用の方は④からお読みください。

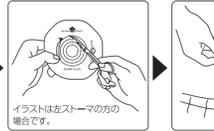
●フリーカットの場合 ※イラストはFです。



① ストーマの大きさを測ります

ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてとっておきます。

●ストーマの大きさは変動することがあります。1ヶ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。



② 面板に穴を開けます

穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面板の剥離フィルム側に重ね合わせて、面板に穴の大きさを書き写します。その線より1~2mm程度大きく穴を開けます。

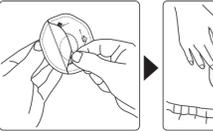
●この際、ストーマを傷つけないように切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。



③ 穴の大きさを確認します

剥離フィルムを剥がす前に、面板をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

●フリーカット、フレカット共通 ※イラストはFです。



④ 剥離フィルムを剥がします

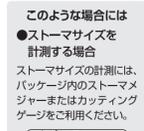
タブを持って面板の剥離フィルムを剥がします。
*剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。(使用手順 準備④参照)

●ストーマの大きさは変動することがあります。1ヶ月に1回は大きさを測り、常に正しいストーマサイズを知っておきましょう。



⑤ 面板を貼り、よく押さえま

面板の上下を確認のうえ、お腹のシワを伸ばすようにして貼付します。面板を貼付したら、皮膚にきちんとくっつくようにストーマ周囲から外側に向けて、手で押さえながら十分に密着させてください。
●面板を貼付する時は、皮膚を伸ばし過ぎないようにしましょう。
●軟膏等は粘着力低下の原因となりますので、併用しないでください。



●より確実に固定する場合

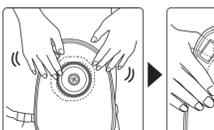
面板を皮膚に密着させ、確実に固定するには、ペルト(固定ペルト-II)の併用が有効です。ただし、ペルトの圧迫が強すぎると皮膚が赤くなったりしますので、締め付けすぎないようにしてください。

●この場合、ストーマを傷つけないように切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。

【ウロストミーの場合】

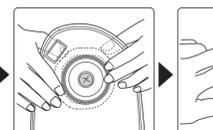
器具交換時にも尿が絶えず出ているので、ロールガーゼ(ガーゼを丸めてテープで止めたもの)で尿を吸い取りながらタイミングを見て貼るとよいでしょう。

使用手順 (ストーマ袋の装着方法)



① ストーマ袋の位置を合わせます

ストーマ袋を持ち、面板とおおよその位置で重ね合わせ、上下左右にずれないことを確認します。
*リング部分に排泄物などが付着している場合は、しっかりと取り除いてください。



② ストーマ袋をはめ合わせます

リングの位置合わせができた後、親指と他の指ではさむようにして、指を移動させながらはめ合わせます。



③ ストーマ袋の外し方

ストーマ袋の取り外し用タブをストーマ袋と一緒に持ち、もう一方の手で面板側の取り外し用タブを押さえながら、ゆっくりストーマ袋をぬくように外してください。

使用手順 (排出口の開閉方法) <Dfの場合>

●Dfの排出口の閉じ方



① クリップを開きます

図のようにストッパーを押しながら引き上げて、クリップを開きます。



② ストーマ袋を巻きつけます

引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一周に巻きつけます。
*折り上げたゆるみ原因があると、便や臭いモレの原因となります。



③ クリップを閉じます

ストッパーを押しながらクリップを閉じます。
*最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

●Dfの排出口の開け方 / 排出方法



① クリップを外します

しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き上げてクリップを外します。
*ストーマ袋を押さえおくことで、クリップを外した際に、急に便が排出されることを防ぎます。



② 便を排出します

ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモレの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向けて、ストーマ袋内の便を排出します。
*ストーマ袋の折り返しがいやしいように幅広いのペルトボトム形状になっています。



③ ストーマ袋の先端をクリップで止めます

便の排出が済んだら、排出口部分をトイレトベーパー等で拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

セルケア2の種類と規格

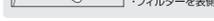
面板		セルケア2・F		セルケア2・D		セルケア2・U	
種類	商品コード No.	穴の大きさ (直径)	ストーマ有効径	面板サイズ (縦×横)	適応ストーマ袋サイズ	1面入数	
Mフリー	18251	10mmφ	4~39mm (フリーカット)				
M16	18661	16mmφ	12~15mm				
M19	18662	19mmφ	15~18mm	88mmx88mm	M		
M22	18252	22mmφ	18~21mm				
M25	18253	25mmφ	21~24mm				
M28	18254	28mmφ	24~27mm				
Lフリー	18255	10mmφ	4~49mm (フリーカット)				
L32	18256	32mmφ	27~31mm	98mmx98mm	L		
L36	18257	36mmφ	31~35mm				
L40	18258	40mmφ	35~39mm				
LLフリー	18259	10mmφ	4~69mm (フリーカット)	118mmx118mm	LL		

セルケア2・Fc

種類	商品コード No.	穴の大きさ (直径)	ストーマ有効径	面板サイズ (縦×横)	適応ストーマ袋サイズ	1面入数
M13	18387	13mmφ	9~12mm			
M16	18388	16mmφ	12~15mm			
M19	18389	19mmφ	15~18mm	100mmx100mm	M	
M22	18381	22mmφ	18~21mm			
M25	18382	25mmφ	21~24mm			
M28	18383	28mmφ	24~27mm			
L32	18384	32mmφ	27~31mm			
L36	18385	36mmφ	31~35mm	110mmx110mm	L	
L40	18386	40mmφ	35~39mm			

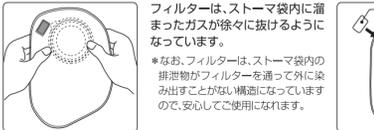
●この場合には

- ご使用中に「ガスがスムーズに抜けにくい」と感じたら
- フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするように拭き、取り除いてください。
- フィルターを裏側と裏側から指つまんで、2~3回回転させてください。



通気回復フィルターについてのご注意

●TDf/Df/Cf/D キャップをお使いの場合 ※イラストはCfです。



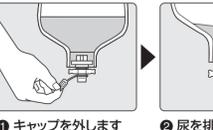
●重要

- 以下のような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいでください。
- ① ガスが抜けず、臭い、真空状態のようになり、ストーマから排出された便が袋の中に落ちず、ストーマ周囲に付着してしまうことがあります。このような場合は、パッケージ内のフィルターカバーシールを貼って、通気孔をふさいで、ストーマ袋内にガスが溜まるのを防止してください。ストーマ袋内にガスが溜まったらシールを剥がして、手で軽くストーマ袋を押しつぶしてください。
- ② 入浴の時 入浴時に外側から水がフィルターに触れると活性炭が水を吸収してしまい、入浴後に活性炭を含んだ水が染み出すことで衣服を汚してしまう原因となります。

*ストーマ袋を装着して入浴した場合は、入浴後、乾いたタオル等でストーマ袋に付いた水分を拭き取るようにしてください。

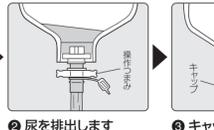
使用手順 (排出口開閉方法) <Uの場合>

●排出口の開け方/閉じ方



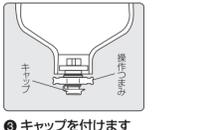
① キャップを外します

二重ロックされていること(上から見ると左回り方向)を確認し、次にキャップを外します。
*ロックされている状態では尿はまはだけません。



② 尿を排出します

操作つまみを180°(上から見ると右回り方向)回転させます。
*この時、尿の排出が行われます。

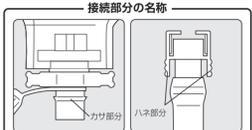


③ キャップを付けます

操作つまみを元に戻し、次にキャップを付けます。
*キャップを先に閉めますと、先端部分に尿が残りますので、ご注意ください。

●接続チューブの使い方

接続チューブは、夜間などの蓄尿バッグが必要な時にお使いください。
接続チューブご使用時は、チューブのねじれや折れにご注意ください。
別売のくぼ尿バッグ1号をご使用の場合、この接続チューブは必要ありません。



●接続部分の名称

●カチ部分
●ハネ部分

●接続チューブの付け方



① コネクターを差し込みます

付属の接続チューブに、ご使用になる蓄尿バッグのコネクターを差し込みます。



② 接続チューブを引き抜きます

次に、キャップのみを外したウリナーパウチに接続チューブを「カチ」音がするまで強く差し込みます。その際、接続チューブのハネ部分が口具のカーブ部分にしっかりと掛かっていることを確認します。



③ 操作つまみを回転させます

最後に操作つまみを180°(上から見ると右回り方向)回転させると、接続チューブ、蓄尿バッグへ導尿されます。

●接続チューブの外し方



① 導尿を止めます

操作つまみを180°(上から見ると左回り方向)回転させ、ウリナーパウチから接続チューブ、蓄尿バッグへの導尿を止めます。



② 接続チューブを引き抜きます

接続チューブのハネ部分を指で挟み、ツメにロックを外してから(イラスト①)、ゆっくり接続チューブを引き抜きます(イラスト②)。



③ キャップを付けます

ウリナーパウチの排出口にキャップをとりつけます。

使用手順 (排出口の開閉方法) <D キャップの場合>

●D キャップの排出方法 / 排出口の閉じ方



① キャップを外します

排出口を上に向け、便が出てこないようご注意ください。キャップを外します。



② 便を排出します

キャップを口具キャップ止め具に止め、排出口をトイレに向けて便を排出します。
*排出口に尿が多い場合は、口具部分を指先で押して、便しほり出してください。



③ キャップを閉じます

排出が終わりましたら、排出口部分をトイレトベーパー等で拭き、キャップを付けます。

●この場合には

